

2012 年 12 月 20 日

財団法人日本国際協力センター

## キズナ強化プロジェクト 被災地訪問プログラム 訪問地からの声

### I 岩手県

#### 1. 自治体（町）

夕食交流会において、地元高校生との伝統芸能を通じた交流を実施したが、一緒になった踊りや訪日団からも伝統芸能等を披露いただき、深く交流をすることができた。当日参加した地元高校生からは、「交流できて楽しかった」「もっと交流したかった」などの意見をいただいております、一定の成果があげられたのではないかと感じている。

風評被害からの脱却や地域の活性化などの面からも、被災地に人が訪れてくれることが大変効果的であると感じていることから、今後も引き続き訪日団の受け入れを実施したい。また、できるだけ被災者や同年代の方々との交流の場面もプログラムに入れながら、より効果的な事業にしていきたいと考えている。

#### 2. 自治体（市）

被災地を応援しようという訪日団の気持ちが伝わりました。全体的に明るく、朗らかで我々も勇気づけられました。

被災地にとって、交流人口の拡大が復興支援となっております。実際に、訪日団の方々から地域住民は「元気」をいただいております、今後も継続的な交流を望みます。

#### 3. 企画運営協力地域団体

世界の方々に現況を報告いただくことで新たな理解を深めていただくことで風評被害の防止となり、より広く報道していただくことで、災害に対する思いを持っていただくことで風化防止になります。仮設商店で商品を購入して頂いたり会話をすることで被災者に元気を与え地域の活性化につながると思います。

仮設住宅を視察した際に、地元の方から歓迎されたことは大変うれしい出来事であったと思います。被災者自身の言葉により双方にメリットがあったと考えております。

#### 4. 企画運営協力地域団体

涙を流す人達も多くいて、思いは伝わっていると実感できた。このような事業は大変大事なことと思う。是非、継続して行うべきだと思います。

#### 5. 企画運営協力地域団体

訪日団の方々が積極的に質問する、興味を示すといった姿勢は受入れ者側からすると良い印象になったようで「やりがいがある」との感想を受けました。親睦を深めようと学生自らが日本語で

話しかけてきて下さる事が多く、とても嬉しく思いました。

東日本大震災により甚大な被害を受けたものの、この大災害がなければ皆様とお会いできる機会  
はなかったと思います。当地方を訪れて下さったことを心から感謝申し上げます。こうして来て  
いただき、地元の人と交流しながら色々なことを知り、感じて貰えることも復興へ繋がる一歩だ  
と感じております。また、震災の被害を理解して頂くだけに留まらず、自分が災害に巻き込まれ  
た時に身を守る方法、生き延びる術をそれぞれが考え意識するきっかけになればと思っております。

## 6. 見学先被災企業

被災した企業として、被災地を走る鉄道会社として、東日本大震災の現実を次世代に伝え残すこ  
とが使命と考え、学習列車を企画しました。当初は国内の学生を中心に利用していただくことを  
想定してありましたが、まさか国外の学生に利用いただけるとは思っておりませんでした。

学習列車に乗車中の真剣な顔、涙を流す方、「がんばってください」「おうえんしてます」などの  
言葉をいただいた時、私たち社員は、「国外に被災地の想いを伝えられた」と感じた一瞬でした。

今回の受け入れは有意義で貴重な体験でした。また非常に楽しいひと時でもありました。

学習列車で、自然の猛威、命の大切さ、人と人とのつながりなど様々のこと学んでいただきた  
いと思います。また国外に「東日本大震災」について発信できるチャンスをいただき感謝して  
おります。

## 7. 見学先被災企業

地域の苦悩やその実態を少しでも見てもらい、理解してもらえればありがたいし、強いては視察  
に来られた方々の地域に生かしてもらえれば、私たちの経験が生きてくると思います。

もっともっと、呼び寄せてください。色んな国と友好に寄与してゆきたい。

## 8. 語り部ガイド

「ツナミ」のもたらす惨状とその後の人々の生活、そして社会が受ける心と再生の現実を解って  
もらえたことが良かった。自然は豊かな恵みを私達に与えてくれる反面、今回の様に人間の生活  
を根本から変える程の大きな被害をもたらす力を併せもっています。急速に進歩する文明、科学  
の恩恵を日常的なものとしている私達は、今回の震災を契機に少しく自然に対する畏敬の念を抱  
いて欲しい。

# II 宮城県

## 1. 小学校

### 【6年生】

私は、アメリカの高校生の人達との交流会で感じた事が2つあります。

1つ目は、「アメリカ人なのに、日本語が上手」です。私は、高校生と会話した時、すべて日本

語で返してくださったので「英語が少ししかわからない私達を思ってたたくさん練習してきてくださったんだな。」と思いました。

2つ目は、「いつも笑顔」です。バースデーバスケットをしている時、私達を初めて見た時、いつも笑顔でした。これは、「私達を元気づけようとしているんだ。」と感じました。アメリカの高校生の人達は、遠いアメリカからわざわざ「私達を喜ばせるために来たんだ。」と思いました。高校生のみなさん本当にありがとうございました。

#### 【4年生】

この間は、遠くの方から大島まで来てくださってありがとうございました。大島小学校に来てくださったとき、100人ぐらいの外国の方が来て、とても初めはおどろきました。でも、外国の方たちと、自己紹介やたくさんお話ができて、とても緊張感がなく、楽しく出来ました。あと、やさしく外国の方たちの方から声をかけてもらいました。その時は、自然に笑顔が出てきました。外国の方たちのおかげで、みんな楽しくできましたと思います。本当にありがとうございました。また、自然がいっぱいな大島に遊びに来て下さい。

## 2. 中学校

#### 【1年生】

私が今回の活動を通して、心に残ったことは「国が違っていても、同じ人間として、国境のない絆がある」ということです。私はNさんとBさんの2人と一緒にお習字をしました。わざわざテキサス州から来てくださったので本当にうれしかったです。私は英語があまり話せないけど、2人は知っている日本語を使って話してくれました。お習字で2人が書いた字は「永遠」と「記憶」でした。私は2人がこの2つの文字で「今回のことを永遠に心に記憶してね」と伝えたかったのではないかと思います。このように2時間だけでしたが、国境のない絆がみえた気がしました。私は「国内、国外の人とつながっていて、決して1人ではない、ちゃんと応援してくれる人がいる」という風に思います。

#### 【教諭】

本校の教育課題は「自ら考え、表現できる力」を育成することですので、異文化集団との交流は生徒にとってもよい刺激であったと思います。この度は、キズナ強化プロジェクトにご案内いただき、大変ありがとうございました。同封の生徒の作文にもありますとおり、生徒にとっては何事にも代えがたい貴重な体験となりました。私自身、英語教師を長く務め、コミュニケーションの必要性を生徒に説いてきましたが、英語が日常的なコミュニケーションの手段であることを体験する機会が少ないと感じておりました。このような貴重な機会を提供いただき、本当に感謝しております。

## 11. 自治体（市）

国際交流は、国際化が進む日本にとって、地方自治体に出来る重要な取組の1つであると認識している。本市では、米国との交流事業を行っているが、その他の国との交流事業はない。東日本大震災からの復旧・復興が最優先の課題であるが、それらについても、諸外国及びその都市との常日頃の交流が大切であると認識しており、可能な範囲ではあるが、今後も交流事業が充実するよう取り組む必要があると感じている。

### 3. 社会福祉協議会

訪日団の皆さんの、真剣に話を聞く姿が印象的でした。実際に被災地を訪問して、一人ひとり様々な感想を持ったことと思います。「人は、いつ、どんな災害にあうかわからない」とつくづく感じておりますので、どうか他人事と思わずに、その時、自分の命はもちろん、家族や大切な人をどう守れるかについて考えてほしいと思います。

訪日団の皆さんが地元に戻り、防災活動を行うという形で、私たちの経験が貢献できればと願っています。

### 12. 放送局

被災地で生き残った人間は、被災地での体験を、「教訓」として世界に伝えていく使命があります。未来の命を守るために、世界の若い世代に、防災の大切さを直接伝えることができる、とても良い機会だと思います。今後もキズナ強化プロジェクトにできる限りご協力したいと思っておりますので、何なりとお申し付けください。もし、気仙沼や南三陸、石巻を視察するなら、私の方から出向いてもかまいませんので、できるだけ被災地の今を感じることが出来る事業にさせていただければと思います。

### 4. 宿泊施設

受け入れる前日までは、言葉とかの不安がありどうなる事かと思っていましたが、この子供達に会えた事は私共の思い出となり、いつか、又、会えることを楽しみにしております。このプロジェクトに感謝致します。

とても小さな、でも緑豊かな山、きれいな海…津波の被害の大きさを皆様に知って頂き、それより大きな支援と激励のメッセージを頂いた事、心よりうれしく本当に有り難うございました。少しずつ、でも確実に復興へ頑張っ参ります。力強い応援有り難うございました！

### 5. 見学先被災企業

日本の被災地を見に、わざわざ遠路はるばる来て頂きありがとうございました。各高校もアメリカで天災にあった被災地の高校とのことでした。お互いに助け合いはげましあっていきましょう。そして、若いあなた達がこの現実の状況を見て考え、何をすべきかそれぞれが行動をおこしてほしいと望みます。多くの人命をうばった災害、そして大勢の人の運命を変えた災害。この被災地、人々を知ることによって、他事、他人を考えて人に近づくきっかけになるとと思います。いじめで人1人守れない昨今、周りのことを知ることがとても必要であると考えます。

### 6. 見学先被災企業

私は今回受入を担当しキズナ強化プロジェクトを初めて知りましたが、東日本大震災後各国より大変多くのご支援を頂きました事に深く感謝しこの場をお借りし御礼を申し上げます。今後こういったプロジェクト活動による交流を通して各国との絆を深め日本の素晴らしさを理解して頂きたいと思います。

## 7. 見学先被災企業

海外の学生さん達に実際に被害の状態を見学してもらい、今後の地域の活性化のためのアイデアをもらったこと、逆に地域の人にとって自分達の町が注目してもらえたと知ってもらえたことなどが良かったと思う。かつてこれまでの外国人が訪れたことがなかったので良い刺激になったと思う。機会がありましたら是非またおいでいただきたい。

## 8. 見学先農家

海外の方に震災復興を見せることができてよかった。再開の経緯を真面目に聞いてもらえた。とても貴重な経験をさせてもらった。今後またこのようなことがあったら是非協力させてもらいたい。

# III 福島県

## 1. 高校

### 【生徒①】

私は今回、初めて「キズナプロジェクト」に参加して、これまでにない貴重な体験をさせてもらいました。一番印象的だったことは、彼らの天真爛漫な笑顔と明るい性格でした。去年の大震災と原発事故は、私たちから笑顔を奪い、大きな恐怖を与えました。本校でも第一体育館やプールなどが被災し一年三カ月たった今でも使用することができません。アメリカの高校生の皆さんに本校を見学してもらい、私たちの気持ちを理解してくれたと思います。

彼らのように明るく元気なところを見習って、私も将来、福島県の復興を支える活動や仕事で、活躍できるような人間になりたいと思っています。

### 【生徒②】

私は、今回の7月12日に行われた「キズナプロジェクト」に参加することができました。海外の同年代の高校生と交流する機会はほとんどないので、私にとって、とても貴重な体験になりました。本校には、とても広い敷地があり、その大半を占める農場へと場所を移動しました。東日本大震災の影響で、本校の実習棟が使用できないことを説明すると、とても寂しそうな顔をしていたことが今でも忘れられません。自分のことのように悲しんでくれたことに対して、私は、とても感動し、嬉しさがこみ上げてきました。今回のこの体験で、同じ人であるにもかかわらず、こんなにも外見や言葉に違いがあることを改めて感じ、又、それでも分かりあえるのだということを知ることができました。アメリカからの訪問があったことで、福島県に住む私たちは、今、精一杯生きているということ、そして、福島県は少しずつ立ち上がろうとしていることが世界に発信できたら良いなと思いました。

### 【受入れ担当教諭】

アメリカの高校生とともに過ごした数時間は、高校生活の中でかけがえのない良い経験になりました。交流の時間を惜しみ、バス出発の直前まで本校生に励ましの言葉を伝えようとしていた(米国の)女子高校生がとても印象的でした。

## 2. 高校

### 【生徒①】

私達の絆強化プロジェクトの目標は、アメリカの生徒に福島の良いイメージを持ってもらう事でした。私自身、異国の同世代の学生と交流する事は初めてで、言葉の違いなど、不安な事もありました。しかし、今回のプロジェクトを経験する事で、良い刺激を受け、人として大きく成長できると信じていました。結果は、生徒達の反応も良く、大成功を収める事ができ、本当に嬉しかったです。本校で絆強化プロジェクトを企画して頂いた事に感謝しています。

## 3. 自治体（町）

他地域との交流が薄い地域において、他国の人々との交流を通じて大いに非日常を体験できたことが良かったと思う。人懐っこい性格の子どもたちが多いので、訪日団の方々も距離をあまり感じず接することができたのではないかと思います。

## 4. 企画運営協力地域団体

参加学生の感想ありがとうございました。先日のプレゼンでも感じましたが、キズナの力って凄いですね。言葉の壁はあったにしても心が繋がっていると感じます。皆さん心から応援してくれていると感じました。それに甘えず自分達も努力しなければと思います。良い機会を作っていただいて感謝申し上げます。

ご参加いただきました皆様の感想も読ませていただき、感激しております。風評被害の払拭のための大きな力になると信じております。海外の各国からこのようなメッセージが発信されることは非常に重要なことであり国内へもよい影響を与えてくれると思います。

## 5. 企画運営協力地域団体

町の観光の面でも、海外の方の受入が初めてであり、今後の為の良い経験ができた。話題性があり、町のPRにつながる。また、タイの方々に町を母国に紹介してもらえる為、広くPRできる。今回震災を学びに来るという目的により、町内で初めて災害メニューを取り入れたプログラムができた。このメニューはこのでしか学ぶ事ができないプログラムであり、今後も教育旅行等に活用できる。学校で子供達との交流ができる為、子供達の語学や人生経験等に非常に良い刺激になった。町内で宿泊や食事・体験メニューをする為、経済効果が見込める。海外の方の受入の勉強の場として逆に活用でき、今後に活かせる経験ができた。ベトナム訪日団から元気をもらい、最高の交流ができた。

## 6. 企画運営協力地域団体

受入施設関係者より、この風評被害で困っている時に来ていただいてありがたいと本音が聞こえている。また、学校訪問にて子どもたちは、国際交流という貴重な体験の機会をいただき、感謝している。そして、何より、我が町がいつもとおり変わらぬ自然豊かな地域であることをPRできたこと、福島とわが町の人々が頑張っていることをみていただいたこと、安心・安全の取組をしていることを理解いただけたことが本当によかったと感じている。



## 7. 見学先農家

原発事故による風評被害を取り去る為、国際交流を通して、是非とも現実の安心・安全を自分の目で確かめてもらい、自国に持ち帰ってPRしていただきたい。さらなる交流を進めていただき、さらなる民間ベースの発展につなげていただきたい。

## 8. 体験講話講師

今回のような受入れをする事により、被災地に元気を与え、災害が風化される事がないようにしたい。

## 9. 宿泊施設

福島県に来てくれて嬉しく思いました。また、学生を送り出してくれた理解あるご両親、先生方に感謝しています。今はまだ風評被害で打撃を受けていますが、皆でこれからも頑張ります。今回の来県を通して知った事、喜多方市は元気である事、頑張っている事を伝え、周りの人に来県を勧めて欲しいです。

# IV 茨城県

## 1. 高校

マレーシアの学生のみなさんはとても積極的に日本について質問したり、話しかけたりしていて、とても積極性があると感じました。東日本大震災のことも心配してくれて、被災した私たちに励ましの言葉をかけてくれました。「日本の歌を歌ってください。」と私たちがマレー語で言うと、Kiroroの「未来へ」をみんなで声をそろえて歌ってくれたことにはとても感動しました。素晴らしい時間を過ごすことができました。このような機会があったらまた参加したいと思います。

## 2. 高等

たくさんの人々に震災のことを伝えるということで、海外の同年代の人々に伝えられたというのはとても大きかった。日本以外の国がどのくらい震災に興味があるのかを知ることができ勉強になった。次の交流の際は、意見の共有だけでなく、国を超えた友達を作りたい。

## 3. 高校

タイで起こった大洪水の時の体験談、そして去年日本で起こった東日本大震災の時の体験談を話しました。日本で震災が起こったとき、タイの方々は日本に支援をしてくださりととても心配してくれました。今でも私達の生活を心配してくれていることにとても嬉しく思いました。タイの高校生や先生方はとても心温かく、優しい方々で、今回の交流会は私自身にとって、とても有意義なものとなりました。

## 4. 高校

国際交流活動に参加して、皆日本語が上手で驚きました。また、すごく日本が好きなこと感じ、日本人として嬉しいです。そして、被災地のことを思ってくれていること。私は宮城県に住んでいて、家とかが流されてしまい、1年たった今でも思い出して辛くなることが多いです。「もう1年じゃん」ではなく「まだ1年」なのです。だから、すごく嬉しいです。

## 5. 消防関係者

震災後、明るい話題が少ない状況が続いていましたが、訪日団を受け入れたことにより、市民がマスコミを介して、海外からも注目されて支援されていることを意識することができたことが良かったと思います。また、国内向けにも風評被害の解消に役立ったのではないかと感じています。震災後、全力で復旧復興に力を注いでいますが、また機会があったら再度来日していただき、復興の終わった姿を見ていただければ嬉しいです。

直接現地を目の当たりにしながら体験することは大きな意味を持っているということが伝わってまいりました。こうして真の日本を理解していただくことにより友好の輪が広がれば幸いと感じております。

## 6. 消防関係者

市の被害状況を少しでも伝えることができて良かった。消防職員をしていると、このような国際交流に貢献できる機会はなかなかないので、今後もこのような機会があれば、自分のためにもなるので、積極的に参加して貢献できればと思います。実は、キズナ強化プロジェクトにて米国高校生への講話を行ったあと、市内で初めて市内に在住する外国人向け防災訓練を行いました。来年度も実施したいと考えていますので、この経験を活かせればと思います。

## 7. 自治体（市）

海外の学生の方々が海岸清掃をしている光景は非常にインパクトがあり、地元住民に良い影響を与えたと思う。海岸が綺麗になり、海水浴客を気持ちよく迎えられた。

## 8. 自治体（町）

町の名所を見学していただき知っていただいたことは良かった点である。また、町内のホテルに滞在いただいたことは原発事故による風評被害で低迷している観光業においては非常に有益なことでした。

## 9. 自治体（市）

市庁舎の被災状況の視察は、短い時間でしたが、参加者の熱心に話を聞く姿勢は素晴らしかったです。キズナ強化プロジェクトの受入れをきっかけにインターネットで調べたら、震災直後にマレーシアを含め海外からも多くの援助があったことなど色々分かり、とても勉強になりました。このような交流は相互理解を深めるためには大切なことだと思うので、今後も続けてもらいたいです。



## 10. 企画運営地域協力団体

交流会の主役を同世代の地元中高生に委託した結果、同じ目線の者同士での言葉を越えた交流が実現しました。お互いの芸能を披露し、笑顔とジェスチャーでの会話は、地震のダメージなど何処かへ飛んで行ってしまった様な眺めでした。このレベルの交流は、地方の観光協会や市町村レベルでは、絶対に出来ないものであり本当に感謝です。

## 11. 被災団体（漁業協同組合）

訪日団を受け入れ、被災地としての現状を見てもらったことは、被災地の復興支援（風化防止、地域の活性化）に貢献すると考え、今後も受入れたいと考えます。普段交流出来ない人達との交流が出来たことが良かったです。

地元の小学生との交流など組み込み、幼少期に外国人と触れ合うことで、将来の復興の力になると考えます。

## 12. 慰問先老人福祉施設

訪日団は、風評被害の防止、風化防止、地域活性化の観点から被災地の復興支援に貢献すると考え、今後も受け入れたいと思います。

訪日団の受入れが決まってから、利用者と一緒に受入れ時に行う七夕飾りの準備を行ったり、利用者が自主的に挨拶の言葉「ハロー」の練習を始めたり、交流の機運が高まりました。また、当日も利用者と生け花やお習字、七夕飾り作り等をしながら交流が楽しく行われ、利用者も職員も視野が広がり、学ぶことが多かったと思います。

## 13. 慰問先老人福祉施設

訪日団の受入れは風評被害の防止、風化防止、地域の活性化から復興に貢献すると考えます。訪日団のマナーは大変よく、今後も受入れを希望します。

センター利用者の方々は、前日から何人来るのか、何を話すかなど、かなり興奮していましたが、訪日団が率先して、センター利用者の方々とコミュニケーションをとってくれて、カラオケでも盛り上げて楽しませてくれました。訪日団の素直さに驚きました。

国際交流というのは行いたいと思っても、田舎ではチャンスがないため、このような交流の機会はとても貴重でした。

## 14. 見学先被災施設

訪日団に東日本大震災時の状況を説明し、質問も多く出されました。正しい情報が韓国の方々より発信していただくことができ、風評被害の防止につながり、被災地の復興に貢献すると考えます。

## 15. 見学先被災施設

訪日団からの質問に放射能に関するものが複数ありました。地震の被害よりも原発事故の影響に関して高い関心があると感じました。他国民が感じている放射能に対する風評被害を払拭するためにも、若い世代に現状を深く理解してもらうためにも、必要なプロジェクトではないでしょう。

か。

#### 16. 見学先被災施設

被害の実情をご理解いただけたと思います。彼らの今後の人生に少しでも刻まれ、国同士の友好につながればと思います。皆さんの若い力でぜひこれから世界が平和になるよう力をお貸ください。

#### 14. 見学先被災施設・体験講話講師

参加者の訪問は、風評被害の防止という観点から被災地の復興に貢献すると考えます。被災地に来て実際に見聞きし、体験することで、震災後の日本に対してニュースなどからの情報とは違う信頼感が増したのではないかと思います。地方の神社におりますと外国人の参拝客に出会うことも少ないので、今回はとても良い機会になりました。また同様の企画などがございましたら、お声がけいただければ幸いです。

以上